



雨に負けずやり抜いた運動会

1日(土)の運動会に、早朝から多くの保護者の皆様にご協力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。異常気象の影響で、前日まで雨が降り続き、テントを張ることができず、運動会当日、朝早くからのテント張りにも拘らず、たくさんのお父様方の応援を得まして、短時間で20あまりのテントを設営することができました。また、運動会終了後も、積極的に後片付けに参加していただきまして、ただ感謝あるのみです。

また、予想されていたことですが、前半の小雨交じりで、プログラムを一部変更したり、祖父母、卒園児の出場競技をカットしたりして、大変ご迷惑をおかけしましたことを併せてお詫びいたします。

本来なら12時前に前半の演技競技を終え、1時間の昼食の後、午後に卒園児や親子競技の予定でしたが、天候の関係で、午前中に子どもの出場する競技を優先して終了することにしたために、12時半近くまで伸びてしまい、結果として、子どもたちに一番の迷惑をかけてしまうことになりました。

しかし、子どもたちは、雨にも負けず、空腹にも負けず、日ごろの練習の成果を、保護者の皆様の前で、存分に発揮することができました。

初めて運動会を迎える年少さん。1, 2スマイルの遊戯では、トントントンとリズムに乗って片足を上げて踊るところがとても可愛らしいのですが、子どもたちにとっては、リズムに合わせて踊ったり、片足を上げるのが難しかったようです。でも、当日は、とても上手に、可愛らしい遊戯を披露することができました。かけっこも、練習では、ゴールで待つ先生を目がけて走るのですが、どの先生に向かって走ってよいか迷っていた年少さんでした。当日は、迷わず、保護者の方へ向かってまっしぐら。スピードも出ていたようです。子どもたちは笑顔で、保護者の胸に飛び込んでいきました。保護者の方も、飛び込んでくる我が子を思い切り抱き上げ、逞しく育つお子様を頼もしく思われたこと



でしょう。毎年のことですが、とても絵になる美しい光景だと思います。

力強い年長、ソーラン節

本園の年長伝統競技であり名物競技の Chikushi ソーラン節は、今年も見ごたえのある演技を披露しました。毎年のことですが、練習の始めの頃は、さほど関心を示さなかった子どもたちでも、本番が近づくにつれて、子ども同士で自主的な練習が始まります。昼休みや帰りの待ち時間を利用して、4~5人の少人数の時もあれば、クラス全員の時もある、全員の士気が高まっていくのが分かります。

こうした熱気は年中さんや年少さんにも自然と伝わるのでしょうか、彼らも年長さんの自主的な輪の中に加わって踊っています。本園のよいところは、遊戯に加わった年中・年少さんを年長さんが優しく



教えているところでしょうか。見ていても微笑ましい気持ちになります。最初は、数人の子どもしか、力強さが感じ

られませんが、当日は、皆、力強い演技を披露しました。

ポンポンの花が開いた年中さん

年中さんのポンポンダンスも上手でしたね。この年齢の子どもの中には、まだ、集団への参加が十分にできず、また、恥ずかしくて遊戯に参加できない子どもがいましたが、担任の優しい指導で、全員で大きなポンポンの花を咲かせることができました。この遊戯では、ラインで円を引いていても、数人が固まり、なかなか上手に円を描けませんでした。担任二人がとても苦勞していましたが、当日は、みんなが両手を大きく広げて等間隔に広がり、上手に円を描いて踊ることもできました。子ども以上に担任が喜んでいました。

